

A43 (三輪・纏向・織田)

【 交流拠点 国際ポートターミナル 】

～ 仏教伝来の地碑 ～



金屋河川敷公園の堤の上に高さ三・八メートルの仏教伝来の碑があります。このあたりは、昔、海石榴市つばいちと呼ばれ、大阪（難波津）から大和川をさかのぼって到着する船着場があった場所です。外国から多くの使者や物資が上陸したと伝えられています。欽明天皇の時代に、百濟（現在の韓国西部）の聖明王からの使節もこの地に上陸し、仏像と経典を贈り、仏教の信仰をすすめたといわれています。

（桜井市 金屋）